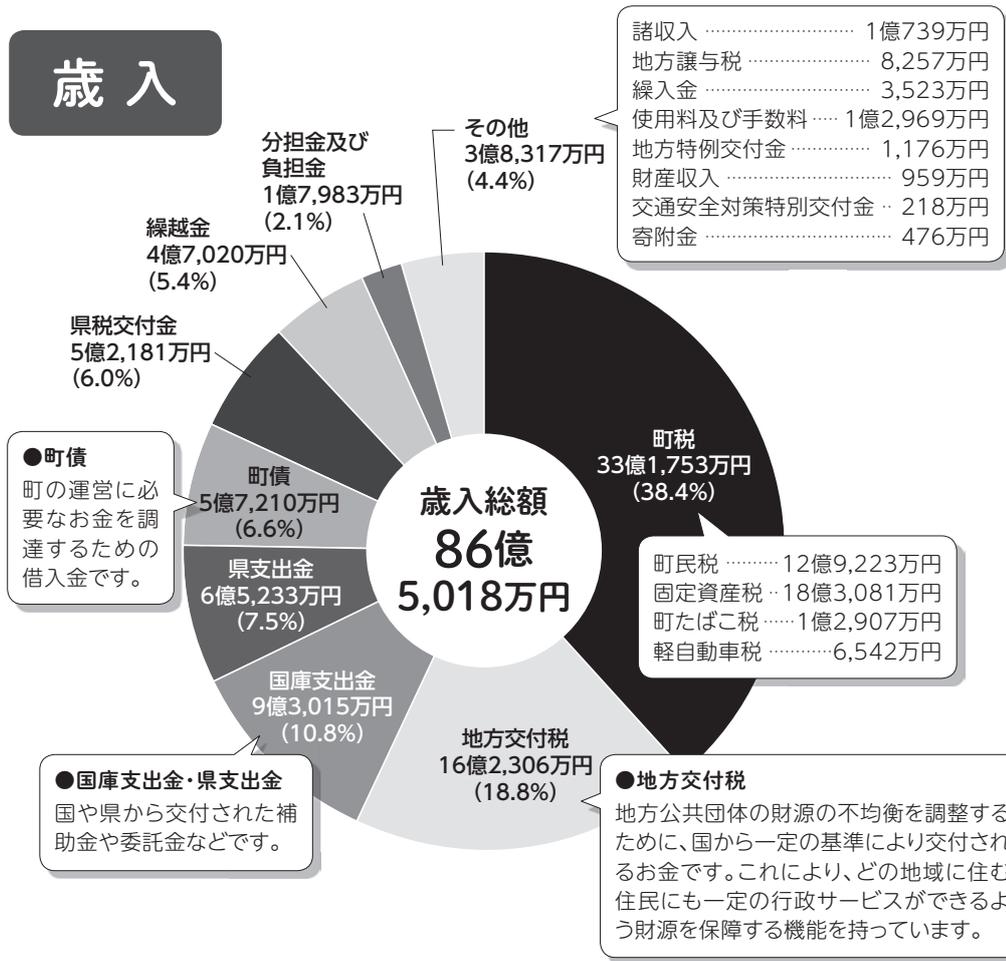


の状況

一般会計は、行政運営の基本的な会計であり、福祉や教育、土木、農林、衛生などの支出目的別に経理した歳入・歳出の会計です。

決算

歳入



実質収支で、3億8千565万円の黒字決算

平成27年度一般会計決算額は、歳入が86億5千18万円、歳出が82億2千167万円となり、差引の4億2千851万円から翌年度への繰越財源を除いた実質収支は3億8千565万円となり、前年度に引き続き黒字決算となりました。

健全な財政運営と、歳入および歳出の特徴

平成27年度における決算規模は歳入・歳出とも前年度に比べ、減額となっています。これは、平成26年度に大谷公園内にグラウンドゴルフ場の増設をしたことや待機児童の解消のため公立保育所こぼと園の整備を行ったことにより、建設事業費が一時的に増加したことが要因となります。歳入の特徴として、町民税は給与所得や株式譲渡による所得の増加により増収となった一方で、法人税率の見直し等により法人に関する税収は大幅な減収となりました。これにより財源の調整をする地方交付税は増額となりました。

特別会計の決算状況

特別会計は、特定の事業を行うため、一般会計と区別して経理されています

●国民健康保険特別会計

国民健康保険に加入する被保険者の医療費の一部などを負担する会計です。
歳入：25億832万円
歳出：24億5千199万円

●介護保険特別会計

高齢者への介護サービスなどを行う会計です。
歳入：19億1千44万円
歳出：18億6千946万円

●公共下水道事業特別会計

下水道を整備、維持管理するための会計です。
歳入：8億1千41万円
歳出：7億9千851万円

●後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療保険に加入する被保険者の医療費の一部を負担する会計です。

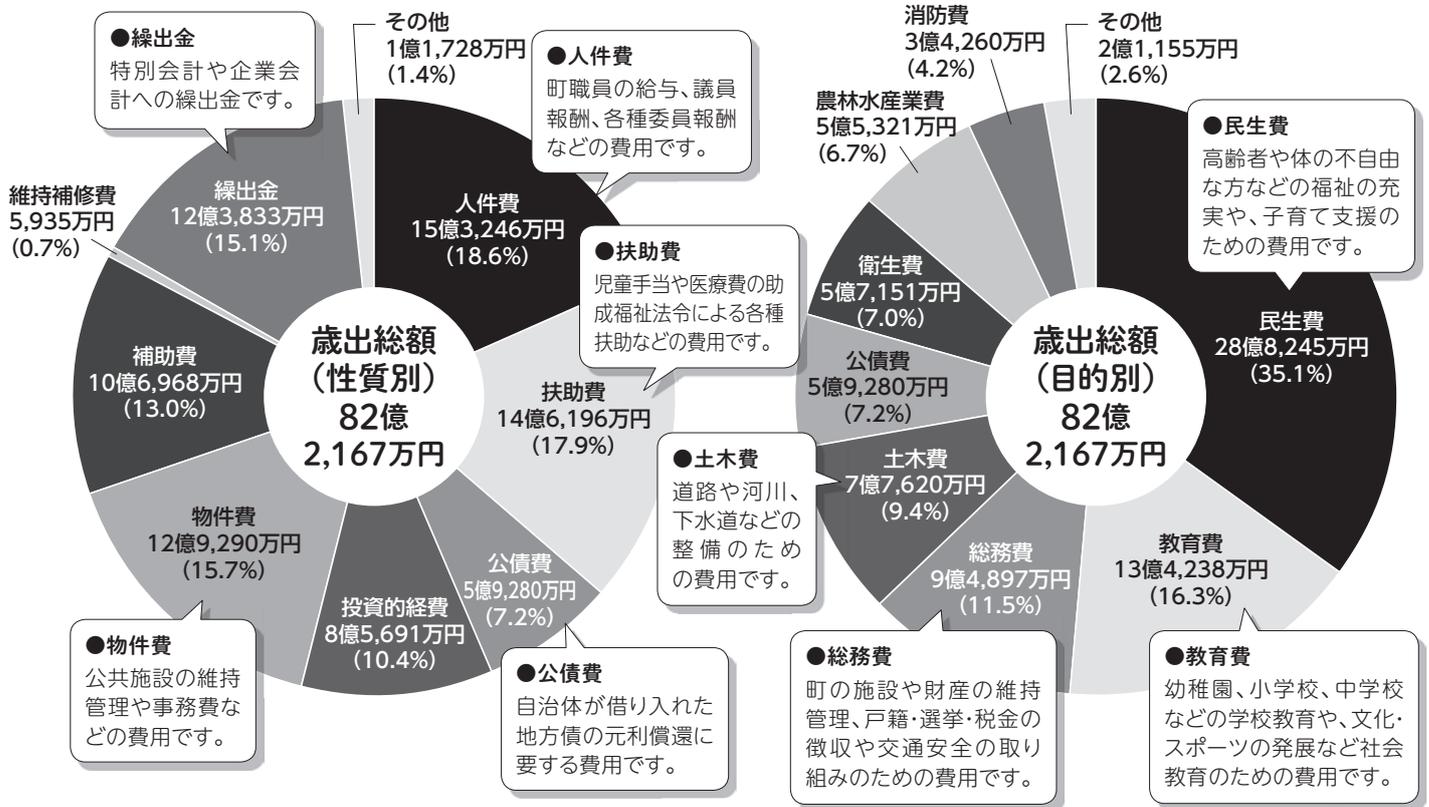


平成27年度

一般会計

「性質別」は、人件費などの義務的な支出なのか、公共事業など将来のために投資するための支出なのかなど、「経済的性質ごとに分類して表す方法」のことをいいます。それに対して「目的別」は、「町がどんな行政目的のためにどれくらいの支出をするのか」という視点から分類する方法です。

歳出



歳出の特徴は、保育所の待機児童を減らすため、公立保育所あおぞら園鎌掛分園の整備や児童保育所「太陽の子」の増設、障害者グループホーム整備補助、福祉医療費助成事業の拡充など福祉施策を充実しました。防犯灯のLED化や町道改良などを進めるとともに、日野菜の振興や体験型観光、有害鳥獣被害対策、また、近江日野商人ふるさと館の開設や日野小学校・南比都佐小学校の教育用コンピュータの更新など重点施策を着実に実施することができました。

このほかにも厳しい財政状況の中、行政経費の節減に努め、年々増加する行政需要や社会保障関係経費に対応することができました。

また、国の地方創生交付金を活用し、プレミアム商品券等の発行や町史ダイジェスト版の作成などに取り組みました。

今後も安定した財政運営のためには、財政健全化への取り組みが引き続き必要となっています。

| | |
|-----------------------|-----------|
| 歳入 | 2億3千418万円 |
| 歳出 | 2億3千160万円 |
| ●農業集落排水事業特別会計 | |
| 農業集落地域の生活排水処理を行う会計です。 | |
| 歳入 | 1億9千467万円 |
| 歳出 | 1億8千828万円 |
| ●水道事業会計(企業会計) | |
| 上水道の整備、維持管理をする会計です。 | |
| (収益的収支) | |
| 収入 | 6億4千953万円 |
| 支出 | 5億8千570万円 |
| (資本的収支) | |
| 収入 | 4千633万円 |
| 支出 | 1億80万円 |
| ●他にも特別会計があります | |
| ●簡易水道特別会計 | |
| 歳入 | 1千283万円 |
| 歳出 | 1千276万円 |
| ●西山財産区特別会計 | |
| 歳入 | 254万円 |
| 歳出 | 218万円 |